【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成31年２月26日
【会社名】	株式会社アクアライン
【英訳名】	Aqualine Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　大垣内　剛
【本店の所在の場所】	広島県広島市中区上八丁堀８番８号
【電話番号】	０８２－５０２－６６４４（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長　小林　寿之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区霞が関三丁目２番５号
【電話番号】	０３－６７５８－５５８８（代表）
【事務連絡者氏名】	財務・経理部長　平野　真生
【縦覧に供する場所】	株式会社アクアライン東京支社 （東京都千代田区霞が関三丁目２番５号） 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（１）当該事象の発生年月日

平成31年２月22日（取締役会決議）

（２）当該事象の内容

当社の非連結子会社である株式会社アームの株式について、帳簿価額に対して実質価値が著しく低下したため個別決算において関係会社株式評価損を計上し、連結決算において投資有価証券評価損を計上いたします。これに伴い株式会社アームに対して有する貸付金のうち回収不能見込額について、個別決算及び連結決算において貸倒引当金繰入額を計上いたします。

また、連結子会社であるリモデルコンシェルジュ株式会社の株式について、帳簿価額に対して実質価値が著しく低下したため個別決算において関係会社株式評価損を計上いたします。

（３）当該事象の損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成31年２月期の個別決算において、関係会社株式評価損105,878千円、貸倒引当金繰入額20,000千円を計上いたします。また、連結決算において、投資有価証券評価損66,687千円、貸倒引当金繰入額20,000千円を計上いたします。